

清流

●伊藤病院だより



平成十六年度 診療報酬改定について

伊藤病院院長 伊藤 順

第3巻1号

平成16年4月15日発行

●発行所●

伊藤病院

〒920-0976

石川県金沢市十三間町98

TEL(076)263-6351(代)

FAX(076)263-2526

●印刷●

高桑美術印刷(株)

現在、日本の医療保険制度を取り巻く環境は、少子高齢化に伴う人口構造の変化に加え有業者の割合の減少、国庫負担と各保険者からの搬出金で支える老人医療費の増加などの問題から厳しい状態にあります。そのため政府は、診療報酬体系の見直しを更に行い、その第一歩が本年4月より始まります。その考え方は、フリーアクセスを原則としつつ、国民皆保険体制を持続可能なものとし、患者さま中心の質がよく安心できる効率的な医療を確立するという基本的な考えに立って、合理的でメリハリのついたものとなります。

また、現状の厳しい経済社会情勢を反映する中で、医療の安全・質の確保、具体的にはDPC(包括評価)小児医療、精神医療等を重点的に評価し、国民が納得できる改定とされています。

この方針の主な内容は、①医療技術の適正な評価、②医療機関のコスト等の適正な反映、③患者さまの

視点の重視を推進することとされています。

つまり、診療報酬上の経済的な理由で効果的な運用を図ることが中心に置かれているわけです。

この改定の真意は米国の医療制度を取り入れており、米国では、豊富なお金がないと良い治療が受けられない事態になっており今や米国の医療は最悪の状態に陥っています。

これまで日本では、誰もが質の高い医療サービスを保証され、WHO加盟国No.1の制度を築きあげていたのに、なぜ米国型なのかよくわかりません。国民が納得する、日本独自のシステムを作り上げるのが大事だと思えます。いづれにしても大変厳しい時代になることは避けられません。



清流

広報誌タイトルは伊藤病院長みずからのネーミングによるもので、患者さま一人ひとりに対して職員全員が犀川の清き流れの如く澄んだ気持ちでおだやかに思いやりを持ちながら対応させて頂ければと考えております。

日本内視鏡学会理事長来院

伊藤病院内視鏡センター

現在名誉院長である伊藤 博は、昭和29年より金沢国立病院（現金沢医療センター）において、北陸で初めて上部消化管内視鏡の臨床を開始しました。開始に先立ち、東京大学第一内科（現消化器内科）第8研究室（消化器内視鏡グループ）に研修をお願いし、研究室長の崎田先生、若き丹羽先生に教えを頂戴したそうです。その後、開発された新型の胃カメラ（その当時は胃内視鏡の表現はまだありません）を用いて、患者さまのために一般診療と共に胃・十二指腸潰瘍、胃癌の診断・治療に鋭意努力を重ねて参りました。昭和38年、国立病院で培ってきた医療技術をもっと患者さまに近い距離で生かしていこうと決心し、現在の場所での内科診療所として開業いたしました。その当時、北陸の第1号のX線テレビを購入、胃透視と共に胃カメラを行い患者さまの診療にあたってまいりました。

当院は昭和43年に病院となり、内視鏡診療は2階の内視鏡室で行ってまいりましたが、件数の増加と患者さまにとって優しい環境作りも考慮して、平成15年1月、別館増築に伴いその1Fに内視鏡センターを新築いたしました。内視鏡センターの概要については、患者さまにとって優しい環境ということで、床、壁、天井の配色も中間色の優しい色を選択いたしました。内視鏡機器については、オリンパス社製の最新型内視鏡ルセラの本体、上部・下部内視鏡スコップを装備しており、内視鏡間感染の防止のために、2台の最新型洗浄器が1内視鏡毎に稼働い



内視鏡学会理事長の丹羽寛文先生（前防衛医科大学校教授）が、名誉院長、副院長の面会と当院内視鏡センターを是非見学したいと御連絡を頂戴し、お忙しいスケジュールの中で御立ち寄りになりました。見学され、患者さま本位に設計され患者さまにとって優しく、効率的に設計されており、機器も素晴らしいとお褒めのお言葉を頂戴いたしました。しばしの歓談の際に、名誉院長は丹羽先生の仰られた内視鏡博物館の創設に賛同し、永年記念として大事に保存していた昭和40年代の胃カメラを寄付させていただきました。丹羽理事長は当病院が時代と共に変革しながら、営々と名誉院長の意思が貫かれていることに感心し、当院のますますの繁栄を祈願され帰路に着かれました。

（記／伊藤 透副院長）

たしております。また、センター内には7床のリカバリーベッドがあり、検査後ゆつくりお休み頂けるようになっております。

内視鏡センター開設後、約1年を経過して検査が順調に進むようになった平成16年3月22日、北陸方面に視察に回って来られた日本

ニューフェイス

よろしくお祈りします!!



薬剤師 北島 峰子

この4月から伊藤病院の薬局でお薬を調剤しています。皆様が健康で楽しく過ごせればと願っています。まだまだ不慣れですが、焦らずマイペースでいきたいと思っています。よろしくお祈りします。



看護師 本田 祐子

私は看護師の資格を40代で取りました。同じ医療関係の他の職種に

就事したことが十数年あり、あまり深く考えないままに飛び込んだのが看護の世界でした。人と人との関りが大切で、絶えず自らの人間性の問われる難しい職業だと思いましたが自己研鑽しつつ、信頼される看護師になっていきたいと思っています。この仕事を行うようになってから自分の至らない点が多いのに気づかれます。自分を振り返る機会になることも多々あります。食べることが好きで、自分のこの体格を考えると自重しなくては：と思います。おいしいお店があったら教えて下さるとうれしく思います。こんな私ですがよろしくお祈りします。



病院事務長研修を終えて

事務部 坪坂 薫

平成15年5月から平成16年2月までの10ヶ月間、病院事務長研修の講習を受けてきました。この研修は医療制度改革ならびに経済不況などにより、医療をとりまく環境は日々厳しさを増しており、逆風に流されることなく、高い医療理念に基づいた病院経営を実践していくに当たって、病院事務長職へ役割期待が望まれています。そのため病院経営に必要な基本的知識、組織活性化や情報管理等の質の管理や幅広い分野にわたって実力強化を図る研修です。

この研修に参加してまず思ったのは、受講生は、優秀な事務長の方々ばかりで私みたいな未熟な者が参加して足手まといになってご迷惑をかけないか、またこの研修を無事乗り越えていけるのだろうかと不安に覆われました。

しかし研修期間内は、グループワーク・演習や研修後の飲み会などでは、大先輩の方々から事務長としての立場や人としての自覚等いろいろなおアドバイスをいただきました。

今後この研修で学んだことを少しずつ生かしていきたいと思えます。



診察のご案内

診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00	伊藤 博				伊藤 博	伊藤 透
	13:00	伊藤 順	伊藤 順	石澤友海子	伊藤 順	伊藤 順	伊藤 順
午後	14:00	伊藤 順				伊藤 順	
	17:30	PM4:00~ 伊藤 透	伊藤 順	藤岡 央	伊藤 順	伊藤 順	

内視鏡検査日：月、火(胃・大腸)
水、土(胃)

■外来診療時間

平日受付 8:00~13:00 14:00~17:30

土曜日受付 8:00~13:00

休診日 日曜・祝日及び12月31日~1月3日



一 除菌について、胃・十二指腸潰瘍一

胃・十二指腸潰瘍の原因については、以前から言われている胃粘膜に対する攻撃因子と防御因子のバランスが崩れること、色々なストレス等複合的な要素が加わって起こるとされてきました。しかし1979年にオーストラリアの病理学者のウォーレン先生と消化器科医のマーシャル先生が活動性胃炎にヘリコバクターピロリ菌(以下H.pylori)を発見、培養に成功されました。その後、胃潰瘍にはおよそ70%、十二指腸潰瘍ではほぼ100%H.pylori感染があることが分かりました。しかしH.pylori菌が胃炎、胃・十二指腸潰瘍の重要な病的因子であっても、感染のみでは潰瘍は形成されません。この菌を除菌(薬で取り除く)することで、基本的に胃・十二指腸潰瘍の再発が劇的に抑制出来る可能性があるということです。



胃潰瘍
(活動性)

除菌は潰瘍であれば健康保険が適用され、その方法は3種類のお薬を1週間服用していただきます。そのお薬は、一般的に風邪等で使用している抗生物質2種類—マクロライド系、ペニシリン系—と潰瘍の治療で既に使用されている胃酸分泌の強力な抑制効果を有するPPI—プロトンポンプインヒビターです。副作用は他のお薬に比べて高いという報告はありませんが、よくお聞きするのは便が少し緩むことでしょうか。除菌率(菌を胃よりいなく出来る率)は概ね80%程度です。是非1度試みるべき治療と考えます。ご希望の方はお気軽にお申し出下さい。この菌の感染は胃癌発生との関連も報告されており、今後の研究に期待が待たれるところです。この事については、今後このコラムで掲載いたします。



駐車場 収容台数25台

交通ご案内

- 北鉄バス
片町(金劇パシオン前)下車 徒歩3分
片町(ラブロ前)下車 徒歩5分
野町・広小路下車 徒歩5分
- 城下まち金沢周遊バス
十三間町(伊藤病院前)下車
- タクシー
JR金沢駅より10分

編集委員/伊藤 透 橋本 香織 松本 幸子 坪坂 薫 丸山 康子 川瀬 裕子 直江 みゆき 本田 祐子

伊藤病院 日本医療機能評価機構認定病院

〒920-0976 金沢市十三間町98

TEL (076) 263-6351(代) FAX (076) 263-2526